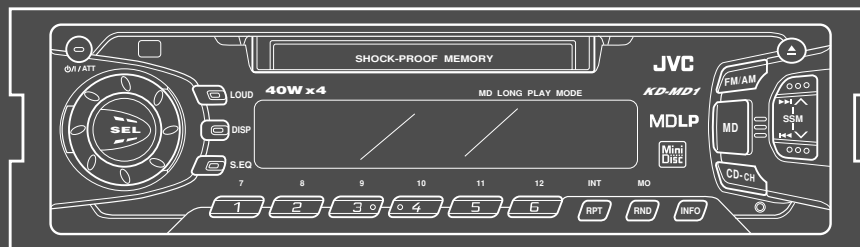


## 取扱説明書

# JVC

# KD-MD1-A/D/G/T

## MDレシーバー



# MDLP



— お買い上げありがとうございます —



ご使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0778-001A

# 目次

● 主な特長	2
● 安全上のご注意	3～7
● 正しくお使いいただくために	8～9
● 各部の名前と働き	10～13
● 時計の合わせかた	14
● 音量・音質の調節	15～17
● MDを聞く	18～21
● ラジオを聞く	22～24
● CDチェンジャーのCDを聞く	25～27
● 他の機器の音を聞く	28～29
● 表示窓のデモ表示について	29
● 放送局名を表示させる	30
● 文字の入力のしかた	31
● 文字配列表	32
● レベルメーターの表示切換え	32
● MDタイトルのスクロール表示のモードを変える	33
● 表示窓のモードを変える	34
● 表示窓の明るさ／コントラストを変える	35
● テレホンミュートについて	36
● 放送局名一覧	37～41
● リモコン(RM-RK41)の使いかた	42～43
● 主な仕様	44
● 保証書とアフターサービス	45
● 故障かな？と思う前に	46～47
● お手入れ	裏表紙

# 主な特長

- 1 DINサイズのMDレシーバー
  - ・ MDLP対応（ステレオ 2 倍長時間／ 4 倍長時間再生）
  - ・ ランダム演奏/リピート演奏/イントロスキャン
  - ・ 40 秒音飛びガードメモリー(LP 4モード時160秒)
- ダイレクトソース(音源)切換
  - ・ ラジオやMD、CDチェンジャー内のCDなどの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- 最大出力 40 W× 4 chハイパワーアンプ内蔵
- SSM搭載チューナースタジオゲーションメモリー
  - ・ SSMによる放送局のメモリーが可能
  - ・ 24局プリセット(FM⇒ 6局× 2、AM⇒ 6局× 2)
  - ・ 交通情報が聞けるINFOボタンインフォメーション
- CDチェンジャーコントロール機能
- 放送局名やディスク名・曲名を表示(カナ・英数字)
- S.EQ LINK(シンプリイコライザーリンク)機能
  - ・ ビート、ソフトおよびポップサウンドの音質をソース(音源)ごとにメモリー
- プリアウト 1 系統(RCAピン)
- テレホンミュート機能
- リモコン(RM-RK41)付属

# 安全上のご注意

－はじめにお読みください－

## 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

## ●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

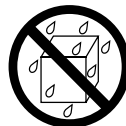
行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

## 警告

■本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。

## 警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

# 安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

## ⚠ 注意

■本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけが・故障の原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電・故障の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。

・ けがの原因となることがあります。



指をはさまれないよう注意

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- 指定の電池以外は使用しないでください。



・ 電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



・ 間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

# 正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●背面のファンは、通常は回転しておりません。本機内部の温度が高くなると、自動で回転します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1時間～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機は<sup>ピーティエール</sup>BTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの<sup>マイナス</sup>側が車の金属部に接続されていたり、<sup>マイナ</sup>側同士が接続されていると故障の原因となります。

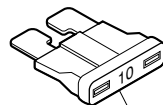
<sup>バランスド</sup><sup>トランスフォーマーレス</sup>  
\*BTL : Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは10A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください

また、10Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。

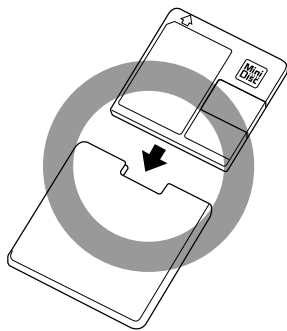


ヒューズ(10A)



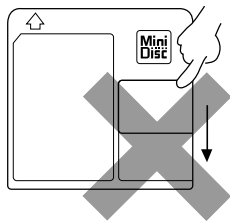
## MDの取扱いについて

### ● MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。MDが変形すると、故障の原因となります。

### ● MDのシャッターについて

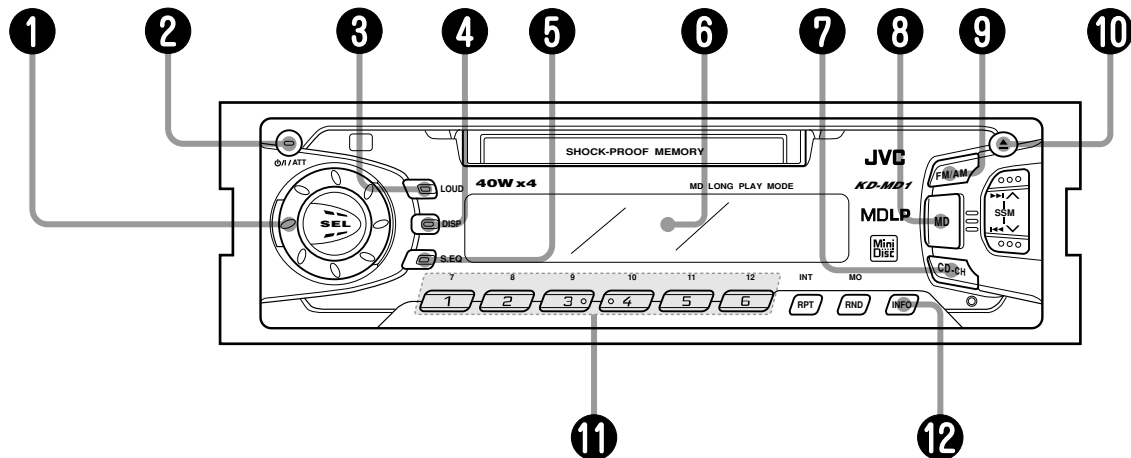


MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

### ● MDにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

# 各部の名前と働き



## 1 回転ボリューム

ボリュームレベルなどが調節できます。

→ 15 ページ参照

## 2 電源/ATTボタン

アッテネーター

電源の「入」↔「切」や音量を一時的に下げることができます。

→ 14 ページ参照

## 3 LOUDボタン

ラウドネス

小音量時の低音・高音を増強するとき使います。

→ 16 ページ参照

## 4 DISPボタン

ディスプレイ

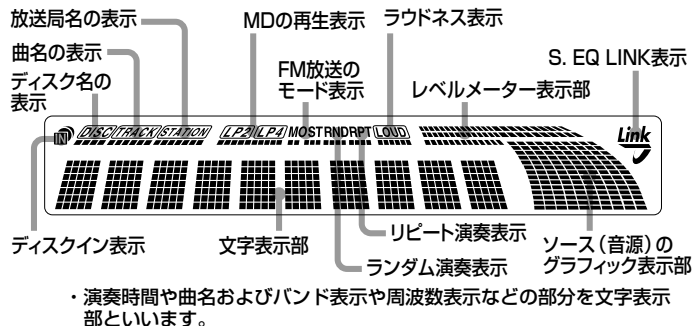
表示窓の表示を変えると使います。→ 21 26 30 ページ参照

## 5 S.EQボタン

シンプル イコライザー

聞きたい音楽に合わせて音質を選びます。→ 16 ページ参照

## 6 表示窓



## 7 CD-CHボタン

ソース(音源)を「CDチェンジャー」にするとき使います。電源を入れることもできます。→25ページ参照  
他の機器の音を聞くとともに使います。→26ページ参照

## 8 MDボタン

ソース(音源)を「MD」にするとき使います。電源を入れることもできます。→19ページ参照

## 9 FM/AMボタン

ソース(音源)を「ラジオ」にしたり、FMとAMの聞きたいバンドを選ぶとき使います。→22ページ参照  
電源を入れることもできます。  
押すごとにF1→F2→A1→A2→F1…と順に変わります。

## 10 ▲(ディスク取出し)ボタン

MDを取り出すとき使います。MDボタンを押したまま▲(ディスク取出し)ボタンを押すと、MDの盗難防止ができます。→18ページ参照

## 11 1～6ボタン

●「ラジオ」のとき：プリセットボタン

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM(F1×6局、F2×6局)、AM(A1×6局、A2×6局)の24局がメモリーできます。→24ページ参照

●「MD」のとき：曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→20ページ参照

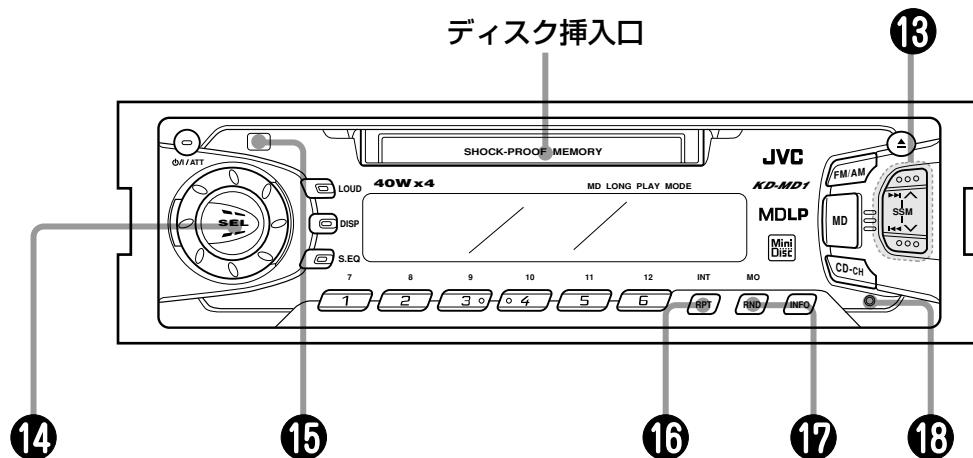
●「CDチェンジャー」のとき：CDダイレクト  
選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→26ページ参照

## 12 インフォメーション INFOボタン

道路交通情報(AM1,620kHz)を聞くとき使います。  
→24ページ参照

# 各部の名前と働き (つづき)



ディスク挿入口

## 13 ●「ラジオ」のとき：選局ボタン(▽、△)/SSMボタン

放送局を選局するとき使います。→22ページ参照

▽と△ボタンの中央を2秒以上押すと、電波状態の良い放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→23ページ参照

## ●「MD」「CDチェンジャー」のとき：|◀◀、▶▶|ボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しに使います。

→21 26ページ参照

## 14 セレクト SELボタン

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに

バス トレブル フェーダー バランス  
BASS → TREBLE → FADER → BAL

↑ ボリューム VOLUME ↓ と変わります。

→15ページ参照

2秒以上押すと時計合わせなどの各種設定モードになります。

→13ページ参照

## 14 SELボタン(つづき)

2秒以上押すと、お買い上げ時は「CLOCK HOUR」のモードになり時計合わせ(「時の調節」)ができます。このとき▶▶I(またはI◀◀)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。例は▶▶Iボタンを押したときです。I◀◀ボタンでは逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。



## 15 リモコン受光部

付属のリモコン(RM-RK41)の信号をここで受信します。  
→ 42 ページの「リモコン(RM-RK41)の使いかた」参照

## 16 RPT/INTボタン

リピート    イントロ

MDまたはCDチェンジャー内のCDの聞きたい曲を、素早く探すことができます。(イントロスキャン)  
1秒以上押すと、曲をくり返して聞くことができます。(リピート演奏) → 20 27 ページ参照

## 17 RND/MOボタン

ランダム    モノラル

MDまたはCDチェンジャー内のCDの曲を、収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。(ランダム演奏) → 20 27 ページ参照

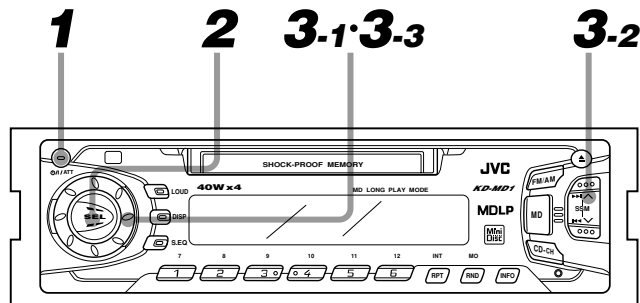
FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。  
→ 23 ページ参照

## 18 リセットボタン

初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。

# 時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —



## 1 ① (電源)/ATTボタンを押して電源を入れる (HELLOが表示されます)



- 電源を切るときは、1秒以上押します。  
(SEE YOU表示のあと電源オフになります)
- 「ボン」と押したときは、ATTになり音量が一時的に下げられ、ATT表示が点滅します。  
もう一度押すと元の音量に戻ります

## 2 SELボタンを2秒以上押して 「CLOCK HOUR」を表示させる



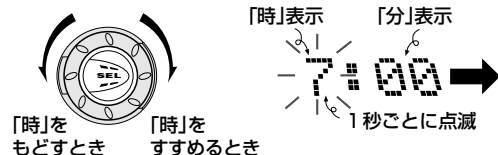
→ CLOCK HOUR

- 2秒以上押す。
- 「CLOCK HOUR」以外の表示が出たときは、▶▶ (または◀◀) ボタンを「ボン・ボン」と押して選びます。

## 3 回転ボリュームと▶▶Iボタンで現在時刻に合わせる (時刻表示点滅中に操作します)

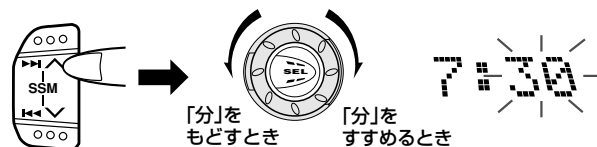
例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

### 3-1 「時」を合わせる



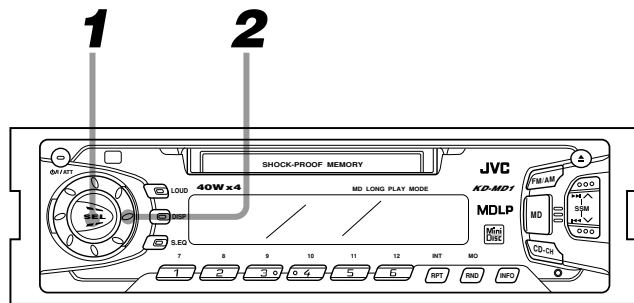
### 3-2 「CLOCK MIN」を 表示させる

### 3-3 「分」を合わせる



- 時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- 時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- お買い上げ時は、電源「切」のとき時計が表示されないようになっています(「CLOCK OFF」の状態)。  
表示されるようにすることもできます。→ ④ページ参照
- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

# 音量・音質の調節



## 〈お知らせ〉

- ・フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

## 1 SELボタンを押して調節したいモードを選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

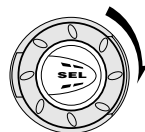
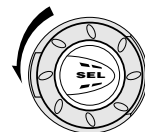
BASS → TREBLE → FADER → BAL  
VOLUME ←

・「ボン」と押す

と変わります。ただしVOLUME(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接回転ボリュームで調節できます。

## 2 回転ボリュームを回して音質・音量を調節する

- ・調節したレベルが表示窓（音量はレベルメーターに、音質・フェーダー・バランスはソースのグラフィック表示部）に表示されます。



	音量が下がる	音量が上がる
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BASS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TREBLE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FADER (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

# 音量・音質の調節(つづき)

## ●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOLUME(音量)	15	00~50
BASS(低音)	00(フラット)	-6~+6
TREBLE(高音)	00(フラット)	-6~+6
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア フロント R 6 ~ F 6
BAL(バランス)	00(センター)	レフト ライト L 6 ~ R 6

・調節が終わってから5秒後に、表示窓は前のソース(音源)表示に戻ります。

## ●ラウドネスコントロールについて



・押すごとに「オン↔オフ」になります。

お買い上げ時は、ラウドネス「オン」に設定されており表示窓に「LOUD」が表示されます。  
小音量時の低音、高音が増強され聞きやすくなります。

ラウドネス「オン」

LOUD

ラウドネス「オフ」

ON ↔ LOUD

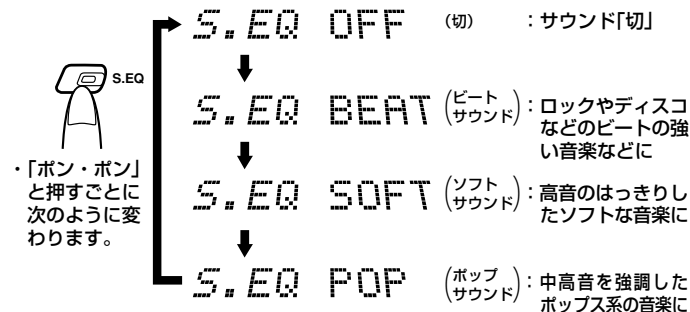
OFF

## ●音量調節について

MD(CD)の演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

## S.EQボタンの使いかた

S.EQ (シンプリイコライザー) を使うと、お聞きになる音楽に合わせて音質が自由に選べます。



## 〈お知らせ〉

### ●リモコンで操作するときは



SOUNDボタンを使います。

### ●S.EQ LINK機能について

S.EQ LINKとは、ビート、ソフトおよびポップサウンドの音質を各ソース(音源)ごとにメモリーしておける機能のことです。お買い上げ時は「LINK OFF」になっておりますので、S.EQ LINKを「LINK ON」に設定してください(⇒17ページ参照)。その後、好みの音質に調節しメモリーしてください。ソース(音源)を変えごとに、違った雰囲気サウンドが楽しめます。



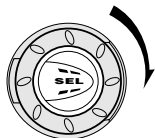
## S.EQ LINK機能を「ON」にする

各ソース(音源)ごとにお好みの音質にしたいときは、S.EQ LINKを「ON」にします。

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▷▷I(またはI◁◁)ボタンを「ポン・ポン」と押して「S.EQ LINK」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを右方向に回して「LINK ON」にする



・ **LINK** 表示が表示されます。ソース(音源)ごとにお好みのサウンドに設定できます。

・ 左方向に回すと「LINK OFF」に戻せます。

### 4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

## S.EQのメモリー内容を変える

ビート、ソフトおよびポップサウンドは、お好みの音質に調節しメモリーできます。ラウドネスの「オン/オフ」も一緒にメモリーできます。

### 1 ソース(音源)を選ぶ

・ ラジオ、MDまたはCDチェンジャーなどから選びます。  
ただし、「LINK OFF」のときは、必要ありません。

### 2 S.EQボタンを押してサウンドを選ぶ

・ BEAT、POPまたはSOFTのいずれかを選びます。

### 3 SELボタンを押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

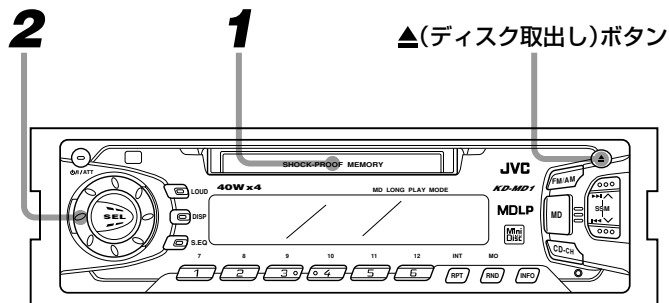
・ 調節したレベルが表示窓に表示されます。

### 4 回転ボリュームで音質を調節する

・ ソース(音源)に合わせたサウンドがメモリーされます。  
・ ラウドネスを「オン/オフ」するときは、LOUDボタンを使います。

# MDを聞く

— 番号順に操作します。 —



## MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
    - ・ラベル面を上にする。
    - ・挿入方向の⇨や▷の表示に従って本体に入れる。
    - ・無理に押し込まない。
- (途中まで入れると自動で引き込まれます)
- ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

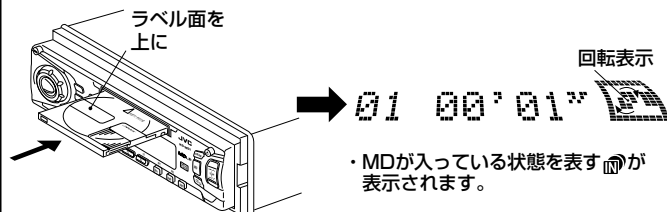
## <お知らせ>

- MDを他の人が取り出せないようにする(盗難防止)

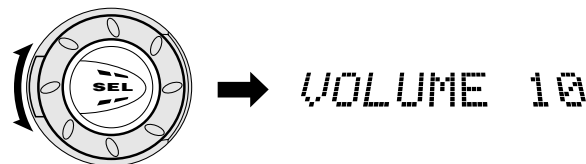


- ・「NO EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT」が表示され、MDが出てきます。

## 1 MDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)

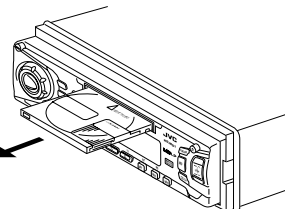


## 2 回転ボリュームで音量を調節する



- MDを取り出すときは

▲(ディスク取出し)ボタンを押します。「EJECT」が表示され、MDが出てきたのち MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。この場合、MDが出てきたのち電源が切れます。



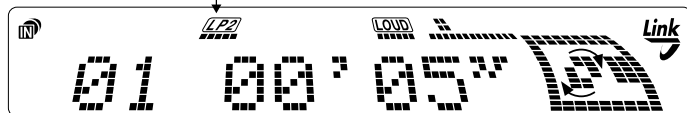
## ステレオ2倍長時間再生／4倍長時間再生について

本機はMDLPに対応しております。したがって録音モード(SP、LP2またはLP4)に関係なく演奏できます。LP2またはLP4で録音したMDを演奏すると、表示窓に **LP2** または **LP4** が表示されます。なお、SPの表示はありませんが標準モードで再生されます。

- SP : 標準のステレオ再生(MD80で最大80分)
- LP2 : ステレオ2倍長時間再生(MD80で最大160分)
- LP4 : ステレオ4倍長時間再生(MD80で最大320分)

例：LP2で演奏のとき

ステレオ2倍長時間再生の表示



## ●MDLPについて

MDLPで録音されたMDは、**MDLP**が表示されているMDレコーダー／MDプレーヤーで再生できます。

## ●MDを入ると…

ソース(音源)は、自動的に「MD」になり演奏がスタートします。またMD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

またモノラルで録音されたMDを入ると、自動的にモノラルで演奏されます。

## ●データ用MDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

## ●ラジオなどを聞いているときMDに切替える



MDが入っているときは、MDボタンを押します。停止していたところから演奏が始まります。

なお、MDが入っていないとき押すと「NO DISC」が表示され、ソース(音源)は切替わりません。

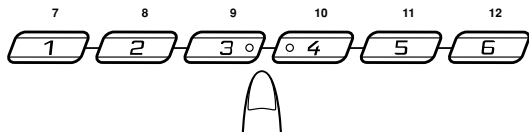
## 〈お知らせ〉

- MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、標準モード(SP)で再生できます。
- モノラルで録音されたMDを演奏した場合、演奏時間が正確に表示されないことがあります。

# MDを聞く(つづき)

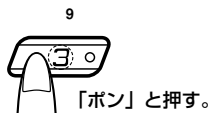
## ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…  
聞きたい曲番号のボタンを「ボン」と押します。

例：3曲目のとき



- 7～12曲目を聞くときは…  
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。

例：11曲目のとき



- 13曲目以上は、演奏中に▶▶ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。⇒21ページ「スキップ演奏」参照

## 1曲リピート演奏(くり返し演奏)

RPT/INTボタンを1秒以上押すと、演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。

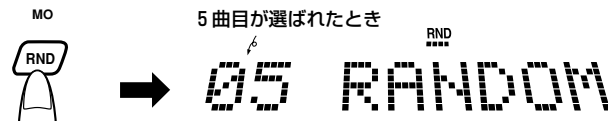


もう一度1秒以上押すと、解除されます。

・表示窓に「RPT」が表示されます。

## ランダム演奏

演奏中のMDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



もう一度押すと、解除されます。

5曲目が選ばれたとき  
・表示窓に「RND」が表示されます。

## イントロスキャン

RPT/INTボタンを「ボン」と押すと、イントロスキャンになります。イントロスキャン中は曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。

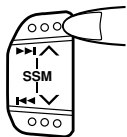


もう一度「ボン」と押すと、解除されます。

・イントロスキャン中は、その曲の曲番号が点滅します。

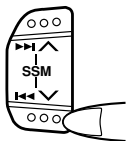
## スキップ演奏(曲の頭出し)

### ●演奏中に次の曲を聞く



- ▶▶|ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まりません。

### ●演奏中に前の曲を聞く

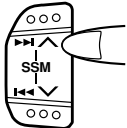


- ◀◀|ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

## サーチ演奏(早送り・早戻し)

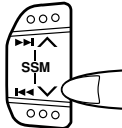
- 演奏中のMDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

### ●早送り



▶▶|ボタンを押し続ける。

### ●早戻し



◀◀|ボタンを押し続ける。

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。  
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。  
指を離すと普通の演奏に戻ります。

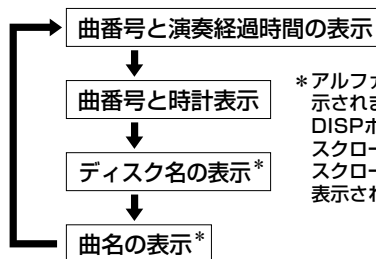
## 表示窓にディスク名を表示させる

MDを挿入すると演奏がスタートし、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。



DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。

- ・押すごとに変わります。



\* アルファベットやカナがスクロール表示されます。  
DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。また曲名がスクロール表示されるとき、曲番号も表示されます。

なお、MDにディスク名や曲名が記録されていないときは表示されません。「NO NAME」が表示されます。

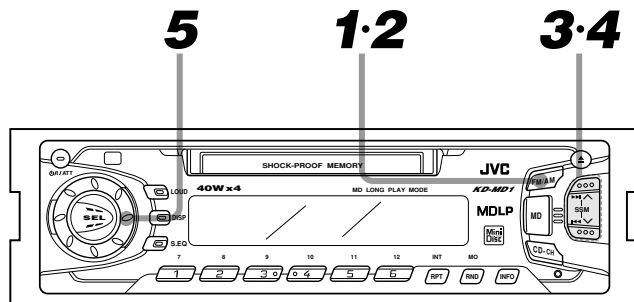
## ＜お知らせ＞

スクロール表示は、お買い上げ時は1回自動でスクロール(ONCE)<sup>ワンス</sup>の状態になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。➡ 33ページ参照

# ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

**マニュアル選局** ……電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。



## ● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から 5 秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(➡24ページ参照)のモードになります。

### 1 FM/AMボタンでソース(音源)を「ラジオ」にする➡電源が入ります



・電源が入ると自動的に前の放送局を受信できます。

(FM放送の場合  
F1またはF2が表示されます)



・表示窓にバンドと周波数が表示されます。  
お買い上げ時は、F1 76.0が表示されます。

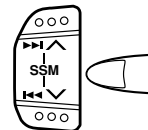
### 2 FM/AMボタンでバンドを選ぶ



・押すごとに  
F1 ➡ F2  
↑  
F2 ➡ F1  
と変わります。

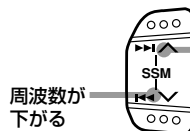
・AM放送はモノラル受信です。

### 3 選局ボタン(ΛまたはV)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



・選局ボタン(ΛまたはV)を1秒以上押して表示窓に「M」を点滅させます。

### 4 選局ボタン(ΛまたはV)で放送局に合わせる



周波数が  
上がる

周波数が  
下がる

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

### 5 回転ボリュームで音量を調節する



## SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

旅行先などで放送局を探すときに便利です。

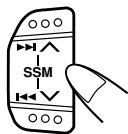
### ●操作例：F1にメモリーするとき

#### 1 FM/AMボタンでバンドを選ぶ(F1にする)



(選んだバンド)  
ごとにメモリー  
できます

#### 2 選局ボタンの△と▽の中央を2秒以上押す



SSM

中央を2秒以上押す。

・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの(1)～(6)にメモリーしていきます。(前のメモリー内容は取り消されます)

#### 3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン(1)～(6)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

モノラル

## MOボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切換えます。表示窓に「MONO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。「MO」が表示され続けます。

電波状態が良好になったら「STEREO」に切換え、「ST」表示に戻してお使いください。

## アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“MD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ** の最大コントロール電流は250mAです)

# ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

## プリセット選局

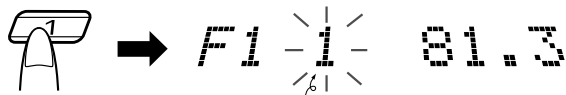
本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン $\boxed{1}$ にメモリーするには…

**1** FM/AMボタンで「F1」を選ぶ → *F1*

**2** 選局ボタン(▲または▼)で希望の放送局に合わせる

**3** プリセットボタンの「 $\boxed{1}$ 」を2秒以上押す



プリセットボタンと同じチャンネル数字が点滅するとメモリーされます。

・FM(F1×6局、F2×6局)、AM(A1×6局、A2×6局)の24局がメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。

AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

### ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

## シーク選局(自動選局)

「M」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すと表示窓の周波数表示が変化し、放送局が見つかったら自動停止します。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

## 道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

**INFO 1620**

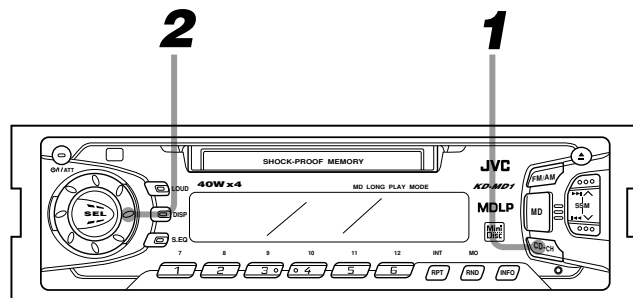
- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- 受信周波数表示中にDISPボタンを押すと、時計表示に変わります。



# CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

**全曲演奏** — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



**1** CD-CHボタンでソース(音源)を「CDチェンジャー」にする⇒電源が入ります



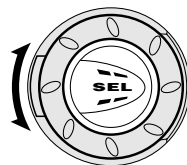
・ CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると自動的に演奏が始まります。

01 00' 01"



回転表示

**2** 回転ボリュームで音量を調節する



VOLUME 10

**CD演奏中の表示内容を変える**



・ 押すごとに変わります。

曲番号と演奏経過時間の表示

CD番号と曲番号

曲番号と時計表示

NO NAME\*

\* ディスク名の表示、曲名の表示に対応しているCDチェンジャーは発売しておりません。

●最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります。(全CDのくり返し演奏になります)

●演奏を途中でやめる

FM/AMやMDボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。

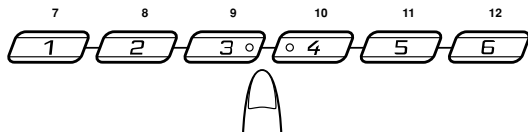
●CD-CHボタンを押しても「CDチェンジャー」に切換えができないときは…

CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。⇒24ページ参照

# CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

## CDダイレクト選択ボタンの使いかた

聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

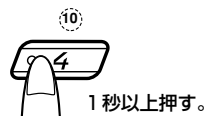
- ・ 1～6 枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号のボタンを「ポン」と押します。

例：2 枚目のとき



- ・ 7～12枚目を選ぶときは：ボタンの上のパネル面に表示されている番号のすぐ下のボタンを1秒以上押します。

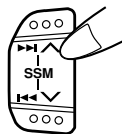
例：10枚目のとき



## スキップ演奏(曲の頭出し)

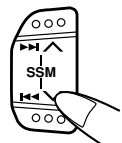
### ●演奏中に次の曲を聞くには

- ・ **▶▶** ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。



### ●演奏中に前の曲を聞くには

- ・ **◀◀** ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。



## サーチ演奏(早送り・早戻し)

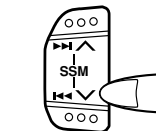
- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

### ●早送り



▶▶ ボタンを押し続ける。

### ●早戻し



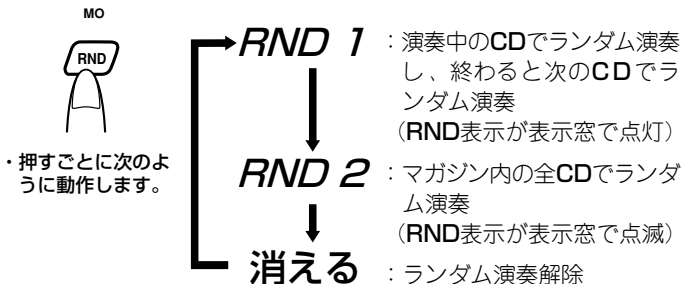
◀◀ ボタンを押し続ける。

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

## ランダム演奏

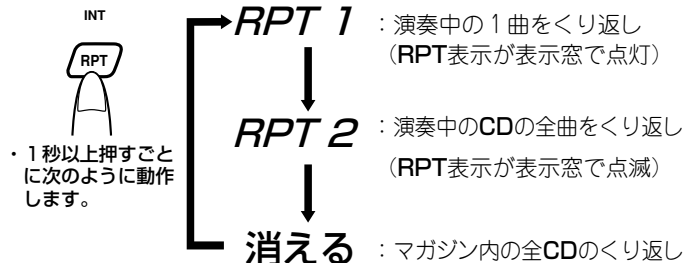
ランダム

- ・RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。表示窓に「RND1」または「RND2」が表示されます。



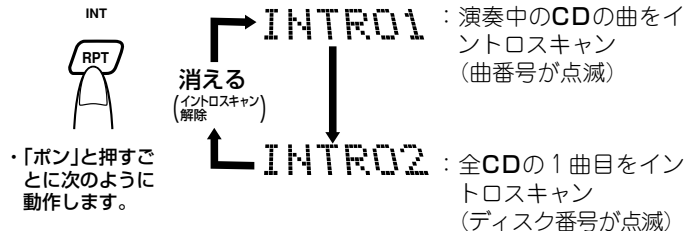
## リピート演奏(くり返し演奏)

- ・RPT/INTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。表示窓に「RPT1」または「RPT2」が表示されます。



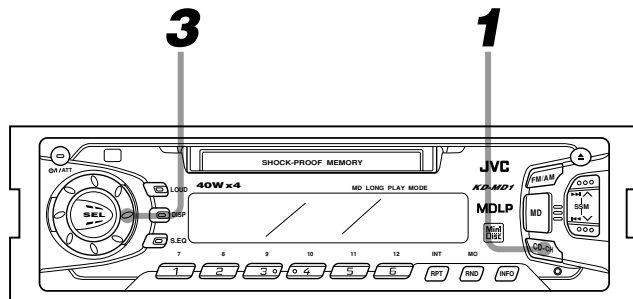
## イントロスキャン

- ・RPT/INTボタンを使うと聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。



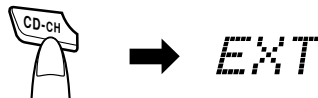
# 他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。 —



- あらかじめCD-CHボタンを「LINE INPUT」のモードに切換えておきます。→29ページ参照

## 1 CD-CHボタンを押す→電源が入ります



## 2 接続した機器を演奏状態にする

- ・ 接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

## 3 回転ボリュームで音量を調節する



### 〈お知らせ〉

- 他の機器(RCAの2チャンネルの出力端子付)は、変換コード:KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続することができます。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。



# 表示窓のデモ表示について

## CD-CHボタンのモードを変更する

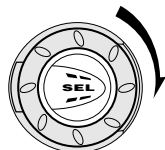
CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」に変えます。

**1** ソース(音源)を「ラジオ」にする

**2** SELボタンを2秒以上押す

**3**  (または ) ボタンを「ポン・ポン」と押し  
エクスターナル インプット  
て「EXT INPUT」を選ぶ

**4** 回転ボリュームを右方向に回して「LINE INPUT」にする



CD CHANGER : CDチェンジャーをつないだとき

↓  
LINE INPUT : 他のカーAV機器をつないだとき

・左方向に回すと「CD CHANGER」に戻せます。

**5** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示…ラジオ…に戻ります。

## お知らせ

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順**3**のとき「EXT INPUT」にはなりません。

本機は、一定時間\*無音状態が続くと、自動で

Mini Disc → FM TUNER  
↑ AM TUNER ↓

のソース(音源)名がくり返し表示されます(デモ表示)。この状態をデモモードといい、音が出るようになると解除されます。

\*一定時間とは…

- ・初めて電源を入れたとき
- ・リセットボタンを押してリセットしたときは10秒間
- ・入力信号のない状態(放送局を受信していないときなど)が3分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには**34**ページの「表示窓のデモモードの解除」をご覧ください。

# 放送局名を表示させる

## 放送局名を自動で表示させる

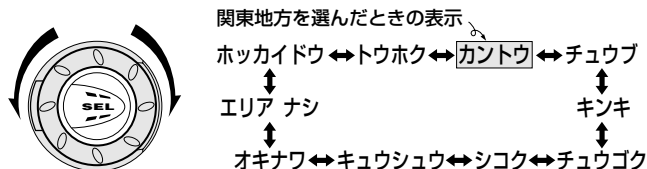
本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

放送局名と表示名は、**37**～**41**ページをご覧ください。

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 **▶▶** (または **◀◀**) ボタンを「ポン・ポン」と押し ステーション セット て「Station Set」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを回してご利用の地域を選ぶ



・お買い上げのときは「エリア ナシ」になっています。

### 4 SELボタンを押す

・放送局名が表示されるようになります。

## 表示の概要

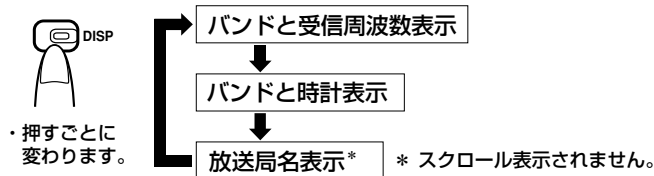
放送局名を表示することができます。

ソース(音源)	表示する名前	文 字 数
ラジオ	放送局名	32局分を最大10文字ずつ（自動で表示するときは含まず）

- MDの場合は、すでにMDにタイトル名や曲名が記録されているときに限り表示されます。本機で記憶させることはできません。また漢字で記録されているMDのタイトル名や曲名を本機で表示することはできません。

## 放送局名を表示させる

ラジオを聞いているとき、放送局名を表示させるには**DISP**ボタンを使います。「放送局名を自動で表示させる」のあとで操作します。



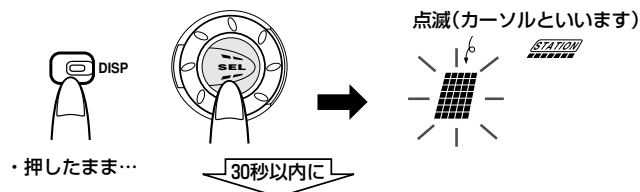
# 文字の入力のしかた

## 文字の入力のしかた(修正・削除)

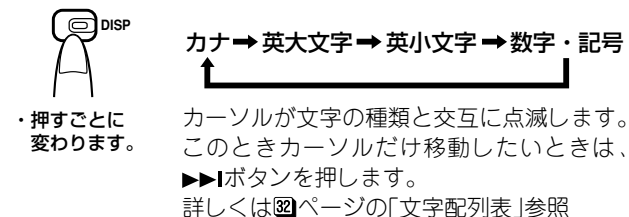
局名を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した局名を修正(削除)するときも同じ操作になります。ラジオは32局分を最大10文字まで入力できます。

### 1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

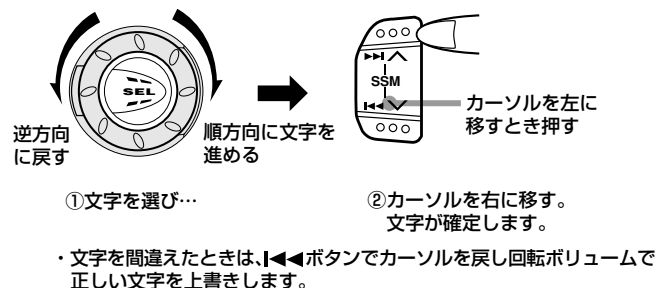
### 2 DISPボタンを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す



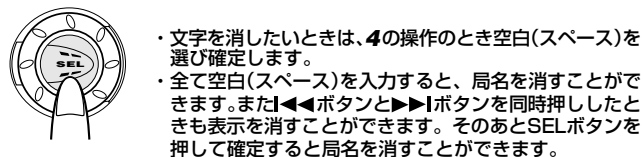
### 3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ



### 4 回転ボリューム → ▶▶Iボタンで局名を入力する



### 5 SELボタンを押して文字を確定する



## ＜お知らせ＞

- 33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない局名は消してください。

# 文字配列表

## ●カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
ー	°	°	(空白)						

## ●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

## ●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

## ●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	°	'	(	)	*
+	,	—	.	/	:	;	<	=	>
?	@	—	`	(空白)					

## 〈お知らせ〉

- 放送局名の中で・(中黒)とα(アルファ)は、入力できません。

# レベルメーターの表示切換え

## レベルメーターの表示を変える

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** ▶▶I(または◀◀)ボタンを「ボン・ボン」と押して「LEVEL」を選ぶ

**3** 回転ボリュームで表示を選ぶ



AUDIO 1 : 通常のレベルメーター  
(音量に応じて点灯します)

AUDIO 2 : ピーク値が点灯します。  
(お買い上げ時の状態)

OFF : レベルメーターは表示されません。

・左方向に回すと逆に進べます。

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。



# MDタイトルのスクロール表示のモードを変える

## スクロール表示のモードを変える

MDタイトルのディスク名または曲名を切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。  
(放送局名は、スクロール表示されません)

### 1 SELボタンを2秒以上押す

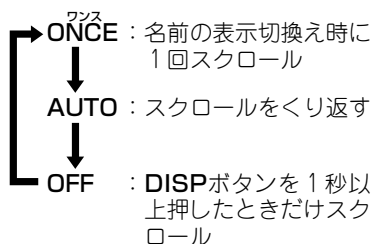
### 2 (または ) ボタンを「ポン・ポン」と押し て「SCRL ONCE」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを回してスクロールのモードを選ぶ



右方向に  
回したとき

・左方向に回すと  
逆に選べます。



### 4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

# 表示窓のモードを変える

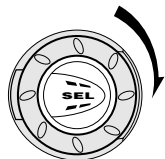
## 電源「切」のとき時計を表示させる

電源「切」のとき表示窓に時計を表示させることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶|**(または**◀◀|**)ボタンを「ボン・ボン」と押して「CLOCK DISP」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを右方向に回して「CLOCK ON」にする



・左方向に回すと「CLOCK OFF」に戻せます。

・「CLOCK ON」にすると、本機の電源「切」のとき表示窓に時計が表示されます。

・車のエンジンキーをオフにした場合、本機の電源が「切」にならない車種の場合は、「CLOCK ON」にしないでください。バッテリーを消耗する原因となります。

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

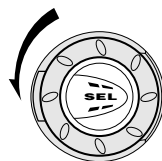
## 表示窓のデモモードの解除／設定

表示窓のデモ表示を出なくすることができます。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶|**(または**◀◀|**)ボタンを「ボン・ボン」と押して「DEMO DISP」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを左方向に回して「DEMO OFF」にする



・「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。  
通常は「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。

(元に戻すときは、回転ボリュームを右方向に回して「DEMO ON」にします)

**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

# 表示窓の明るさ／コントラストを変える

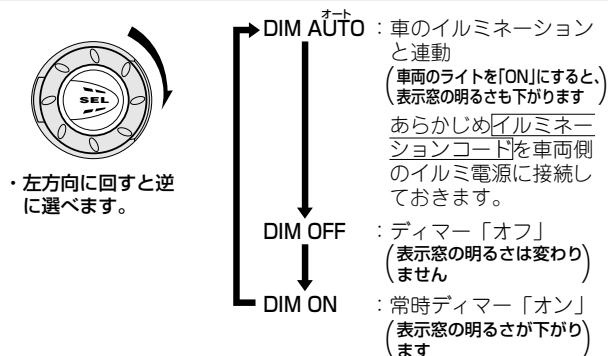
— 番号順に操作します。 —

## 表示窓の明るさを変える

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶|**(または**|◀◀**)ボタンを「ポン・ポン」と押して「DIM AUTO」を選ぶ

**3** 回転ボリュームを右方向に回してディマーのモードを選ぶ



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

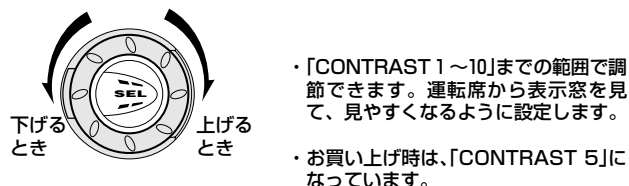
## 表示窓のコントラストの調節

表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

**1** SELボタンを2秒以上押す

**2** **▶▶|**(または**|◀◀**)ボタンを「ポン・ポン」と押して「CONTRAST 5」を選ぶ

**3** 回転ボリュームでコントラストを調節する



**4** SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のモードを変える・表示窓の明るさ／コントラストを変える

# テレホンミュートについて

## テレホンミュートとは

ビクター製のハンズフリーシステム：TF-HF 5 Mなどと接続した携帯電話やPHSに着信すると、「TELEPHONE」が点滅表示され本機の音が自動的に出なくなります。これをテレホンミュートといい通話しやすくなります。

相手が切る\*と自動で本機からの音が出るように戻ります。

\* ビクター製のハンズフリーシステムは、自動着信&自動終了方式となっております。こちらで通話をON/OFFする必要はありません。

## 《お知らせ》

- ビクター製のハンズフリーシステムに適用する携帯電話やPHSは、ハンズフリーシステムのカタログ・取扱説明書をご覧ください。また日本ビクターのホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/> 日本ビクターのホームページ

## ビクター製ハンズフリーシステム：TF-HF5Mをお使いになるとき

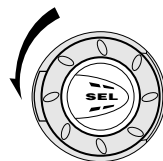
- 携帯電話またはPHSに着信すると、テレホンミュートの働きで本機の音は、出なくなります。通話が終わったとき携帯電話またはPHSによっては、本機の音が復帰しないことがあります。このようなときは、TF-HF 5 Mのマイク部にある発信ボタンを「ボン」と押してください。本機の音が出るようになります。
- 携帯電話またはPHS本体を操作して電話をかけたときは、本機のテレホンミュートは働きません。音が出たままになります。このようなときは、TF-HF 5 Mのマイク部にある発信ボタンを「ボン」と押してください。テレホンミュートが働いて本機の音が出なくなります。

## テレホンミュートのモードを変える

### 1 SELボタンを2秒以上押す

### 2 ▶▶I(または)◀◀ ボタンを「ボン・ボン」と押して「TEL MUTING」を選ぶ

### 3 回転ボリュームを左方向に回してミュートのモードを選ぶ



MUTING ON : テレホンミュートを使うとき(お買い上げの状態)

MUTING OFF : テレホンミュートを使わないとき

・ 右方向に回すと「MUTING ON」に戻せます。

### 4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

# 放送局名一覧

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
北海道(AM)	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
	〃	〃	釧路	585kHz
	〃	〃	帯広	603kHz
	〃	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	〃	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz
	〃	〃	稚内	1,368kHz
	〃	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz
東	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz
	FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz
北(FM)	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	〃	福島	85.3MHz
	〃	〃	青森	86.0MHz
	〃	〃	秋田	86.7MHz
東	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz
	〃	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz
北(AM)	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz
	東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz

・2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

# 放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東北(AM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
関東地方(FM)	インターFM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	浦和	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	〃	千葉	80.7MHz
関東地方(FM)	J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	〃	横浜	81.9MHz
	〃	〃	東京	82.5MHz
	〃	〃	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	浦和	85.1MHz
	FM群馬	FMガンマ	前橋	86.3MHz
関東地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz
	NHK第2	NHKダイ2	〃	693kHz
	AFN	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	ブンカハウソウ	〃	1,134kHz
	茨城放送	イバラキハウソウ	水戸	1,197kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
関東地方(AM)	ニッポン放送	ニッポンハウソウ	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz
中部地方(FM)	栃木放送	トチギハウソウ	宇都宮	1,530kHz
	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	FMナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	FM石川	FMイシカワ	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
中部地方(FM)	NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz
	〃	〃	金沢	82.2MHz
	〃	〃	新潟	82.3MHz
	〃	〃	名古屋	82.5MHz
	FMとやま	FMトヤマ	富山	82.7MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
	〃	〃	岐阜	83.6MHz
	〃	〃	長野	84.0MHz
	〃	〃	甲府	85.6MHz
中部地方(AM)	〃	〃	静岡	88.8MHz
	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンハウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	新潟	837kHz
	福井放送	フクイハウソウ	福井	864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	〃	〃	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	シンエツハウソウ	長野	1,098kHz
	北陸放送	ホクリクハウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタハウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	シズオカハウソウ	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
	〃	〃	福井	1,521kHz
	〃	〃	新潟	1,593kHz
	〃	〃	甲府	1,602kHz
近畿地方(F・M)	FM CO・CO・LO	CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	〃	京都	82.8MHz
	〃	〃	大津	84.0MHz
	〃	〃	和歌山	84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(F・M)	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	〃	〃	奈良	87.4MHz
	〃	〃	大阪	88.1MHz
	FM 京都	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神戸	89.9MHz
	AM KOBE	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	京都	621kHz
	〃	〃	大阪	666kHz
近畿地方(A・M)	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	〃	1,008kHz
	KBS京都	KBSキョウト	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	ラジオオオサカ	〃	1,314kHz
中国地方(F・M)	和歌山放送	ワカヤマハウソウ	和歌山	1,431kHz
	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	松江	77.4MHz
	広島 FM	ヒロシマFM	広島	78.2MHz
	FM 山口	FMヤマグチ	山口	79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	松江	84.5MHz
	〃	〃	山口	85.3MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	鳥取	85.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	浜島	86.6MHz
	〃	〃	岡山	88.3MHz
中国地方(A・M)	〃	〃	岡山	88.7MHz
	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	〃	〃	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	702kHz
	山口放送	ヤマグチハウソウ	徳山	765kHz
	山陰放送	サンインハウソウ	米子	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	関	1,026kHz

# 放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクハウソウ	広島	1,350kHz
	NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	岡山	1,386kHz
	AFN	AFN	山口	1,494kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,575kHz
				1,593kHz
四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松	78.6MHz
	FM愛媛	FMエヒメ	高松	79.7MHz
	FM徳島	FMトクシマ	徳島	80.7MHz
	FM高知	FMコウチ	高知	81.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	徳島	83.4MHz
	〃	〃	高松	86.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	高知	87.5MHz
	〃	〃	高山	87.7MHz
四国地方(AM)	高知放送	コウチハウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	〃	〃	松山	963kHz
	〃	〃	高知	990kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz
	南海放送	ナンカイハウソウ	高松	1,116kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,152kHz
	四国放送	シコクハウソウ	徳島	1,269kHz
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz
	西日本放送	ニシニホンハウソウ	〃	1,449kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz
九州地方(AM)	〃	〃	福岡	84.8MHz
	〃	〃	熊本	85.4MHz
	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	〃	〃	北九州	85.7MHz
	〃	〃	佐世保	86.0MHz
	〃	〃	宮崎	86.2MHz
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	88.9MHz
九州地方(FM)	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
	〃	〃	鹿児島	576kHz
	〃	〃	福岡	612kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大分	639kHz
	〃	〃	長崎	684kHz
	〃	〃	熊本	756kHz
	NHK第2	NHKダイ2	熊本	873kHz
	宮崎放送	ミヤザキハウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
九州地方(AM)	大分放送	オオイタハウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンハウソウ	隼人	1,107kHz
	熊本放送	クマモトハウソウ	熊本	1,197kHz



	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(A・M)	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	〃	〃	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
	〃	〃	宮崎	1,467kHz
沖縄(F・M)	AFN	AFN	佐世保	1,575kHz
	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
沖縄(A・M)	AFN-沖縄	FM AFN	〃	89.1MHz
	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	〃	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	〃	1,125kHz

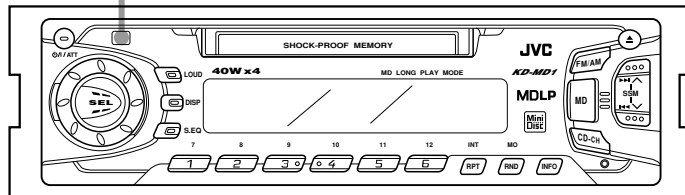
・ 2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

# リモコン (RM-RK41) の使いかた

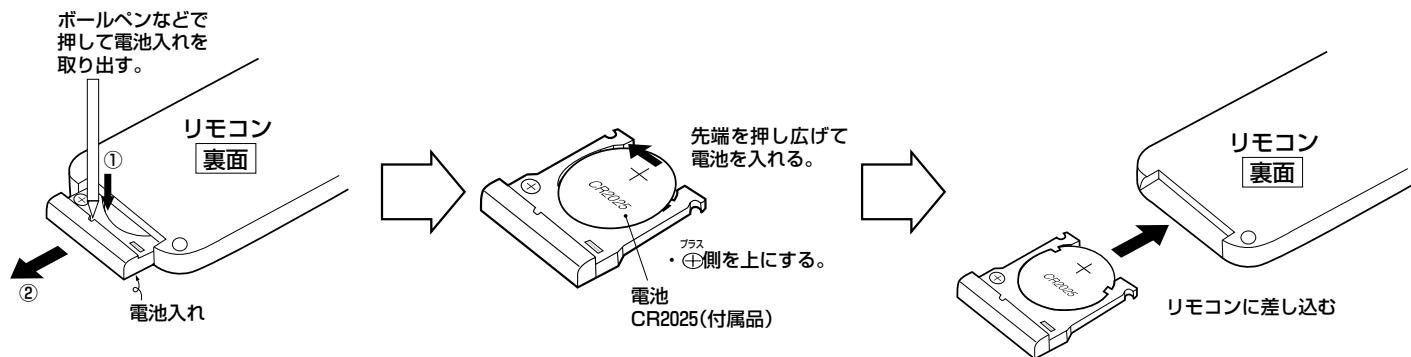
## リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください(動作しないことがあります)。
- 付属の電池は動作確認用です。  
早目に新しい電池 (CR2025：市販品) と交換してください。

## リモコン受光部



## 電池の入れかた



## ● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。  
使用済み電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

## 各部の名前と働き

### ⏻/⏻(電源)/ATTボタン

1秒以上押すと電源の「入」↔「切」ができます。  
「ボン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

### ディスク バンド DISC+/BANDボタン

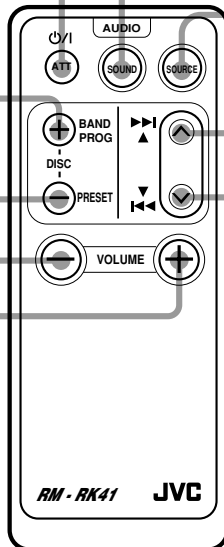
- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。  
(PROGの機能はありません)

### プリセット DISC-/PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局  
(1ch～6ch)の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

### ボリューム VOLUME+、-(音量)ボタン

- 音量の調節ができます。
- ・ +：音量が上がります。
  - ・ -：音量が下がります。



### サウンド SOUNDボタン (S.EQボタンと共通)

聞きたい音楽に合わせて音質を選びます。  
本体のS.EQボタンと同じ働きをします。

### ソース SOURCEボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。  
押すごとに

ラジオ → MD → CDチェンジャー  
(LINE IN)

と変わります。ただし本体にMDが入っていない  
かたたりCDチェンジャーが接続されていない  
ときはラジオのみになります。

### ▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「MD」と「CDチェンジャー」のとき  
：曲の頭出しや早送り、早戻  
しができます。  
(▲と▼の機能はありません)

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り  
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- サンプリング周波数：44.1kHz
- 音声圧縮方式：ATRAC/ATRAC 3 (MDLP)方式
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：88dB
- S N 比：93dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 40W+40W (4  $\Omega$ 、1 kHz)  
リア 40W+40W (4  $\Omega$ 、1 kHz)
- 適合インピーダンス：4  $\Omega$  (4  $\Omega$ ～8  $\Omega$ で使用可能)
- 入力端子：DINジャック (8 ピン) × 1、CDチェンジャー  
(またはカーAV機器) 接続用1.5V/20k  $\Omega$
- 出力端子：RCA端子 (1 系統)、2 V/1 k  $\Omega$   
スピーカーコード (2 系統、ギボシ型)

- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター × 1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
  - 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
  - 実用感度：14.3dBf (1.43  $\mu\text{V}/75 \Omega$ )
- AMチューナー部
  - 受信周波数：522kHz～1,629kHz
  - 実用感度：27dB  $\mu$  (22.4  $\mu\text{V}$ )

## 電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V (11V～16Vで使用可能)  
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質量：約1.3kg (付属品含まず)

## 付属品

- ・リモコン (RM-RK 41) ..... 1
- ・電池 (CR 2025) ..... 1
- ・接続コード (16ピンコネクター) ..... 1
- ・ネジ (M5 × 6 mm) ..... 4
- ・皿ネジ (M5 × 6 mm) ..... 4

# 保証書とアフターサービス

## ●保証書の記載内容で確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

## ●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

## ●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

## ●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

## 修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、故障かどうか再度お調べください。
2. それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC MDレシーバー：KD-MD1-A (ブルー)  
KD-MD1-D (オレンジ)  
KD-MD1-G (グリーン)  
KD-MD1-T (ブラウン)

・ お名前とおところ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 MDの演奏音が出ない。

## 別売りアクセサリ

- ・ MDレンズクリーナー：CL-ML
- ・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-520E(長さ2m)
- ・ 変換コード：KS-U57

# 故障かな？と思う前に

— 「故障かな？」と思ったら… —

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。➡13ページ参照 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
▲(ディスク取出し)ボタンを押してもMDの取り出しができない。	・ 盗難防止状態になっている。 ➡18ページ参照	・ MDボタンを押したまま▲(ディスク取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 「EJECT」が表示されMDが出てきます。
MDが入らない。	・ MDが裏返しになっている。	・ 文字のある面が上になるように正しく入れる。
MDの演奏が始まらない。	・ 内部のレンズが結露している。	・ 電源を入れたまま約1～2時間待つ。
FM放送 (AM放送)がうまく受信できない。	・ オートアンテナコントロール端子 (またはアンテナプースタ電源端子) に「 <u>オートアンテナ</u> 」コードが接続されていない。	・ 「 <u>オートアンテナ</u> 」コードを正しく接続する。
FM放送 (AM放送)の雑音が多い。	・ 放送局の周波数と正しく合っていない。	・ 放送局に正しく合わせる。
「DISC ERROR」が表示される。	・ MDの読み取りでエラーが発生したため。	・ MDを入れ直す。

症 状	原 因	処 置
「BLANK DISC」が表示されMDが出てくる。	・ 録音していない <b>MD</b> を入れたため。	・ 録音済みの <b>MD</b> と交換する。
「NO DISC」が表示される。	・ <b>MD</b> が入っていないとき <b>MD</b> ボタンを押したため。	・ <b>MD</b> を入れる。
「NO NAME」が表示される。	・ <b>MD</b> にディスク名や曲名が記録されていないとき <b>DISP</b> ボタンを押したため。	・ ディスク名や曲名が記録されている <b>MD</b> を入れる。
「HIGH TEMP」が表示される。	・ 本機の内部の温度が異常に高くなっている。	・ ▲（ディスク取出し）ボタンを押したあと <b>FM</b> 放送などに切換え、温度が下がるまで待つ。
「NO PRE ADJ.」が表示される。	・ 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。	・ お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
ディスクの出し入れのとき、音が途切れる。	・ ディスクの出し入れのときは、音声にミュートリングをかけ雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。	
ソース（音源）を「CDチェンジャー」にしたとき「RESET 8」が表示される。	・ <b>CD</b> チェンジャーとの通信エラーが発生している。	・ 接続コードを含め、 <b>CD</b> チェンジャーとの接続を確認する。
ソース（音源）を「CDチェンジャー」にしたとき「RESET <small>数字</small> ○」が表示される。	・ <b>CD</b> チェンジャー本体にエラーが発生している。	・ <b>CD</b> チェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

# お手入れ

## MD(ミニディスク)の清掃

MD(ミニディスク)自体は、カートリッジに入っていますのでゴミや指紋を気にせず、手軽に取扱えます。

ただし、カートリッジの汚れや反りなどが、誤動作の原因となることがあります。カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

長時間演奏しないときは、本機からMD(ミニディスク)を取り出し、ケースに入れて保管してください。

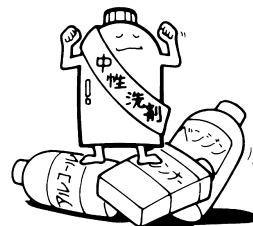
## 本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
カーオーディオお客様ご相談センター

別紙の  
「JVCカーオーディオ製品  
サービス窓口案内」を  
ご覧ください。

☎ (027)252-5145  
FAX (027)254-8927 (ダイヤルイン)  
受付時間 10:00~18:00  
(土、日、祝日、当社休日を除く)  
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

# JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

## 日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン (027) 254-8926